

1 本園の教育目標

「人間としての太い根っこ」
心豊かにたくましい子供の育成を目指して、強くて太い根っこ～生きる力の基礎～を培う

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

努力目標 やってみよう たのしもう ようちえんだいすき!
～居心地のよさを感じられる保育環境や援助について考える～
一人ひとりの居場所があり、意欲的に遊び、友達とつながる中で、主体性を育む保育を実践する

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
幼児理解	B	子供の行動の意味を考えて関わることを意識した。園内研修で子供の姿の捉え方を意見交流し、子供や保護者対応について考えることができた。
特別支援教育の推進	A	子供の発達や特性、課題を明確にしながら個々に応じた支援を行った。家庭や関係機関と連携し、子供と保護者の理解、支援につなげることができた。
教育保育活動	B	子供の興味を捉え「やってみよう」と思える遊びや活動を考え、環境を整えた。意欲的に自ら遊ぶ姿が見られ、満足感や達成感を味わうことができた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	日々、幼児理解に努めたことが子供の安心感へつながった。子供の実態や課題に即して、主体的に遊べる環境作りや教師の援助について考え実践したことで、子供達は自己発揮しながら友達と関わって楽しく遊ぶ姿が見られるようになった。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の充実	行事を精選しながら、幼児の実態と育みたい力を踏まえた連続性のある保育を立案する。子供が主体的に活動しているかという視点をもって保育を省察し、次に生かす。
教員の資質向上	研修に参加する際はねらいをもって参加し、保育に生かす。園内研修においては子供理解、保育評価など、研修内容を工夫し、視野を広めたり、学びを深めたりできるようにする。
異校種交流	小中学校と年度当初に交流計画を立て、ねらいをもって交流を図る。特に小学校は就学への期待をもてるようにすると共に教員同士もつながり、就学前の教育への理解を図るようにする。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である